

基本設計プロポーザルの第2次審査を実施

新庁舎の基本設計を行う事業者を選定する基本設計業務プロポーザルについて、10月23日に、第2次審査会を実施しました。審査会は第1部の発表会と第2部の審査による2部構成で実施し、第1次審査を通過した4事業者について、「新庁舎基本設計業務プロポーザル審査委員会」の6名の委員が審査を行いました。

第1部(発表会)は、参加する設計事業者ごとに、事業者からのプレゼンテーション(発表)が20分、審査委員からのヒアリング(聞き取り)が約20分の計40分で実施しました。発表は事業者が作成した「技術提案書」等をスクリーンに映しながら実施し、聞き取りでは審査委員と設計事業者の間で、活発な質疑応答を行いました。

第2部(審査)では、発表会において各審査委員が記入した審査シートの整理と集計を行い、最優秀者及び次点者の決定を行いました。



第1部：発表会



第2部：審査

プロポーザル実施の流れ	
8月4日	事業者指名通知 (6事業者指名) (4事業者が参加、技術提案書を作成)
9月25日	技術提案書の提出受付締切
10月4日	第1次審査：書類審査
10月23日	第2次審査：プレゼンテーション (発表)とヒアリング(聞き取り)
10月25日	審査結果の事業者への通知
10月31日	審査結果・講評の公表

基本設計プロポーザルの結果を公表

第2次審査の結果、新庁舎の基本設計業務プロポーザルの最終結果が右記の通り決定となりました。なお、審査委員長による審査講評については、裏面に記載の通りです。

最優秀者となった設計業者との契約交渉を行い、契約締結後は、新庁舎の間取り等の基本的な事項についての設計(基本設計)を、今年度末の完成を目標に進めていきます。

基本設計業務プロポーザル選定結果	
区分	事業者名
最優秀者	株式会社 楠山設計
次点者	株式会社 佐藤総合計画 東北事務所
参加者	株式会社 田畑建築設計事務所
〃	株式会社 清水公夫研究所
最優秀者の技術提案書を町ウェブサイトに掲載中です。	

審査講評：新庁舎基本設計業務プロポーザル審査委員会委員長より

新庁舎基本設計業務プロポーザル審査委員会委員長である日本大学工学部 浅里和茂先生より審査講評をいただきましたので、掲載します。

◎全体講評

本プロポーザルは桑折町役場新庁舎建設基本計画・基本構想に掲げられた「6つの理念」およびライフサイクルコスト、設計過程の情報提供、新庁舎に隣接する予定の「やすらぎ園」との関係など、多くの課題に対する提案を求めています。いずれの技術提案書もこれらの課題に真摯に取り組まれており、提出頂いた事務所に対して改めて感謝いたします。

敷地利用計画では駐車スペースを南北側と西側に設け、建物を中央に配置するものとなったのはやすらぎ園との関係から必然と考えられます。また、いずれの提案も建物南面に何らかの広場が計画されており、北側にも緑地を提案したものもありました。建物の形状はL字形としたものが1社、他は矩形であり、コンパクトにまとめようとする意図が感じ取れました。平面の考え方は1階に町民が利用できる空間と窓口中心の執務スペース、2階以上にその他の執務スペースと議会関係諸室を配置したものとなりました。また、休日利用時のセキュリティラインの明確化もそれぞれ提案されていました。

耐震性能への考え方は免震構造が多く、あえて2階建てで軽量化した上で耐震構造を採用したものもありました。ライフサイクルコスト低減については新しい技術の提案も多く見られ、意欲的な取り組みが評価されました。

桑折町らしさは難しい課題ですが、旧伊達郡役所との関連性、町並みや半田山の眺望、旧街道の捉え方など、それぞれが興味深い提案でありました。

◎最優秀者の講評【株式会社 楠山設計】

建物を敷地のほぼ中央に配置し、南・西側に来客駐車場、北側に職員用駐車場と十分な駐車台数を確保しながらも、南に集いの広場を設けることで優しい庁舎を目指したものと思います。また、悪天候時にも配慮したやすらぎ園へのアクセス通路も優しさにつながります。ラウンジや議会閉会時における議場の利用方法についての具体的な提案もつどいを意識したものと評価できます。

防災への配慮として基礎免震構造を提案しており、免震ピットを活用した水害への提案も配慮がうかがえます。また、ユニット化されたプレキャスト部材による無柱空間は免震構造との組み合わせにより、良質な執務空間をつくるとともに工期短縮や工事費削減に寄与すると考えられます。

町民参加としてワークショップの開催だけでなく、独自のかわら版発行での情報提供も考えられ、これまで以上の参加型の基本設計が期待されます。ライフサイクルコストの低減については、奇をてらうことのない堅実な技術の積み重ねで実現をねらっていると評価しました。

プレゼンテーションおよび質疑応答は明確でわかりやすく、技術提案書の内容を十分に伝えるものでした。これらの点から最優秀といたしました。

◎次点者の講評【株式会社 佐藤総合計画 東北事務所】

最優秀者の提案と基本的な考え方が近い提案です。旧街道との関係性、広場と駐車場の配置計画や空調負荷低減などに魅力を感じる提案でしたが、及びませんでした。